

コマンダー一覧
Bluetooth通信仕様(クラシック、BLEモード共通)

Bluetooth LE
・デバイス名 RN4678-XXXX
・サービスUUID 49535343-FE7D-4AE5-8FA9-9FAFD205E455
・キャラクタリスティックUUID 49535343-1E4D-4BD9-BA61-23C647249616

■本体に保存されている赤外線データの送信手順

1 赤外線送信指示コマンドを送信します。赤外線送信No.には、データが保存されている1～32の番号を設定します。

●赤外線送信指示コマンド(本体保存データを送信)

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	赤外線送信No.	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x31	1～32	0x03	0x02+0x31+赤外線送信No.+0x03

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	赤外線送信No.	アンサ	ETX	SUM
6バイト		0x02	0x32	1～32	0x03	0x02+0x32+赤外線送信No.+0x03

■赤外線データの書き込み&送信手順

- 赤外線データを準備します。
BT_IR_Remote_Controller_Advance_Recv_CT.exeアプリで、リモコンコードを「記録開始」ボタン、「記録停止」ボタンで記録し、「クリップボードにコピー」ボタンで赤外線データを取得できます。
- 赤外線データ書き込み開始指示コマンドを送信します。赤外線データサイズには、これから書き込む赤外線データのバイトサイズを設定します。最大赤外線データサイズ8000バイト。
- 赤外線データ書き込み指示コマンドで赤外線データを繰り返し送信します。1で準備した赤外線データを先頭から順番に書き込みます。書き込み位置と書き込みサイズは4の倍数を指定します。
- 赤外線データ送信指示コマンドで書き込んだ赤外線データを送信します。

■赤外線データの書き込み&本体保存手順

- 赤外線データを準備します。
BT_IR_Remote_Controller_Advance_Recv_CT.exeアプリで、リモコンコードを「記録開始」ボタン、「記録停止」ボタンで記録し、「クリップボードにコピー」ボタンで赤外線データを取得できます。
- 赤外線データ書き込み開始指示コマンドを送信します。赤外線データサイズには、これから書き込む赤外線データのバイトサイズを設定します。最大赤外線データサイズ8000バイト。
- 赤外線データ書き込み指示コマンドで赤外線データを繰り返し送信します。1で準備した赤外線データを先頭から順番に書き込みます。書き込み位置と書き込みサイズは4の倍数を指定します。
- 赤外線データ保存指示コマンドで書き込んだ赤外線データを本体へ保存します。保存No.には、1～32の保存No.を指定します。

●赤外線データ書き込み開始指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	赤外線データサイズ	ETX	SUM
6バイト	0x02	0x61	Hi	Lo	0x03

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト		0x02	0x62	0x03	0x02+0x62+0x03

●赤外線データ書き込み指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	書き込み位置	書き込み位置	書き込みサイズ	書き込みデータ1	書き込みデータ2	書き込みデータ3	書き込みデータ4	書き込みデータ5	書き込みデータ6	書き込みデータ7	書き込みデータ8	書き込みデータ9	書き込みデータ10	書き込みデータ11	書き込みデータ12	ETX	SUM
19バイト	0x02	0x63	Hi	Lo	4,8,12	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0xXX	0x03	0x02+0x63+書き込み位置+書き込みサイズ+書き込みデータ1+書き込みデータ2+書き込みデータ3+書き込みデータ4+書き込みデータ5+書き込みデータ6+書き込みデータ7+書き込みデータ8+書き込みデータ9+書き込みデータ10+書き込みデータ11+書き込みデータ12

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト		0x02	0x64	0x03	0x02+0x64+0x03

●赤外線データ送信指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	ETX	SUM
4バイト		0x02	0x65	0x03

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト		0x02	0x66	0x03	0x02+0x66+0x03

●赤外線データ保存指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	保存No.	赤外線データサイズ	赤外線データ1	ETX	SUM
7バイト	0x02	0x67	1～32	Hi	Lo	0x03	0x02+0x67+保存No.+赤外線データサイズ+赤外線データ1

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト		0x02	0x68	0x03	0x02+0x68+0x03

- 赤外線データの消去手順
- 1 赤外線データ消去指示コマンドを送信します。消去No.には、1～32の消去する赤外線が保存されているNo.を指定します。

- 赤外線データの読み込み&本体保存手順
- 1 赤外線データ記録開始指示コマンドを送信します。
 - 2 リモコンの送信部を本製品の受信部に向け、記録したいリモコンのボタンを押します。
 - 3 赤外線データ記録停止指示コマンドを送信します。
 - 4 赤外線記録データ保存指示コマンドで書き込んだ赤外線データを本体へ保存します。保存No.には、1～32の保存No.を指定します。

●赤外線データ消去指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	消去No.	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x51	1～32	0x03	送信データで総和計算

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x52	受信データ 0x02, 0x51	0x03	送信データで総和計算

●赤外線データ記録開始指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	ETX	SUM
4バイト	0x02	0x53	0x03	送信データで総和計算

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x54	受信データ 0x02, 0x53	0x03	送信データで総和計算

●赤外線データ記録停止指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	ETX	SUM
4バイト	0x02	0x55	0x03	送信データで総和計算

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x56	受信データ 0x02, 0x55	0x03	送信データで総和計算

●赤外線記録データ保存指示コマンド

PC→赤外線リモコン送信ユニット

送信コマンド	STX	CMD	保存No.	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x57	1～32	0x03	送信データで総和計算

赤外線リモコン送信ユニット→PC

アンサ	STX	CMD	アンサ	ETX	SUM
5バイト	0x02	0x58	受信データ 0x02, 0x57	0x03	送信データで総和計算